

平成27年度東北被災地復興状況調査日程 8月3日(月)～8月6(木)(4日間)

■ 1 日目

8月3日(月)

9:00 大分空港集合～9:30 チェックイン

10:35 jetstar600 便 成田行き～12:15 成田空港着

12:58 空港出発(京成上野行き)～14:26 はやぶさ 23号～16:33 盛岡駅～レンタカー
国道106号～19:00 宮古市田老町グリーンピア着

①田老仮設住宅居住者でつくる「^{のぼり}さけ幟づくりの会」の皆様と交流会

【宿泊先 宮古市田老向新田 148 グリーンピア三陸宮古 0193-87-5111】
(宿泊2～4名部屋)



■ 2 日目

8月4日(火)



ホテル8:00②グリーンピア三陸みやこ第一仮設住宅1視察～③小堀内地区視察～④田老町防
潮堤視察10:00～山田町～大槌町(⑤らふたフィルズ視察)11:00～鶴住居(⑥防災センタ
ー跡・鶴住居小学校跡)12:00～釜石～大船渡(⑦復興商店街で昼食)13:00～大船渡(⑧
津波伝承館14:30～⑨大船渡市行政視察)16:30～宿泊先

【宿泊先 大船渡市大船渡町茶屋前 34-5 大船渡プラザホテル (0192-26-3131) 個室】

■ 3 日目

8月5日(水)



ホテル8:00～陸前高田(⑩奇跡の一本松)9:00～気仙沼本吉(仙翁寺)10:30～
南三陸(⑪志津川高校と防災センター)12:30～⑫大川小学校跡地～雄勝14:00～女川14:
30～石巻15:00⑬石巻市内視察(被害と復興の取り組み)～18:00 宿泊先～交流会

【宿泊先 石巻市南中里 3-15-37 バリユー・ザ・ホテル石巻 個室】

■ 4 日目

8月6日(木) 8:00～石巻市内～⑭名取市関上浜(日和山^{ひよりやま})～13:00 仙台駅～13:30 は
やぶさ 18号～16:25 成田空港駅～17:40 成田発 jetstar605 便～19:30 大分空港着

・問い合わせ先 (特) 大分県防災活動支援センター 097-576-8611

<旅行代理店 名鉄観光 大分支店>

視察項目概要

① グリーピア三陸みやこ第一仮設住宅 1 視察

宮古市田老町の宿泊施設の広大な敷地にある 3 つの仮設住宅の中で最も大規模な仮設住宅を視察、自治会長の梶山さんから仮設住宅入居者の現状と課題について説明を受けます。

② 小堀内地区視察

震災時に潮位を監視していた自治会役員と消防団の 9 名が最大潮上高 37.8m の津波によって犠牲となった漁港の地区です。津波の実際の高さを体感していただきます。

③ 田老仮設住宅居住者でつくる「さけ幟(のぼり)づくりの会」の皆様と交流会

鮭は 4 年で生まれた川に戻ると云われていることから、以前の活気あふれる地域を取り戻そうと地域おこしの活動をされている皆さんとの交流を通して津波被害の実態を知っていただきます。

④ 田老防潮堤視察

過去の二度に亘る津波被害を教訓に建設された高さ 10m の防潮堤も無残な姿となりました。再建された防潮堤に立って津波襲来時の様子、現在の課題などについて震災語り部から話を伺います。

⑤ 大槌町の特養らふたフィルズ視察

震災発生直後、福祉避難所に登録されていた施設に多くの避難者が殺到し、まるで野戦病院だったと云われています。重症者も抱えて施設職員がどう対応したかを伺います。

⑥ 鵜住居地区防災センター跡・鵜住居小学校跡

津波前に防災訓練を行ったことから、200 人を超える住民が避難場所と誤解して避難し、犠牲となった場所。すでに取り壊されていますが、防災訓練のあり方に警鐘を鳴らしています。

⑦⑧⑨ 大船渡市

復興商店街、⑧津波伝承館で津波映像を見ながら説明を受けます。大船渡市役所にて行政視察を実施して、被害および現状と復興への課題について学びます。

⑩ 陸前高田奇跡の一本松

激しい津波を生き残ったのは松林の 1 本松でした。その後、塩害で存続不可能と判断されましたが、震災記念としてレプリカが建てられています。

⑪ 気仙沼本吉の仙翁寺

津波から逃れた 300 人以上の住民が一時期、協力し合って避難生活を過ごした大きなお寺さんです。避難所生活に何が重要か教えていただきます。

⑫ 南三陸町志津川高校と防災センター

襲来する津波の映像が撮影された志津川高校の坂道から、復興状況を確認していただきます。女性職員が最後まで避難放送を呼びかけて犠牲となった防災センターを視察。

⑬ 大川小学校の悲劇（大川小学校跡地）

津波が襲来する直前の避難行動の遅れから児童 74 名が犠牲となった石巻市立大川小学校跡地を視察し、迅速な判断と避難の重要性について検証します。

⑭ 石巻市内視察（被害と復興の取り組み状況）

市内各所で津波の被害状況を視察、支援活動の際にお世話になった方々を訪問します。
当時のボランティアセンターのスタッフから現地の活動について伺います。

⑮ 名取市閑上浜（日和山）

避難を呼びかける防災行政無線放送が流れずに避難が遅れ、多数の住民が津波の犠牲となった新興住宅地の跡、閑上中学校への避難が間に合わず犠牲となった方の慰霊碑がある学校跡を訪問します。